

【守谷市北部地域包括支援センター 熱中症予防訪問まとめ】

今回の熱中症予防訪問のフォロー対象者の状況や特徴

- ・ 昨年に比べ、環境や体調等に大きな変化のある方が少なく感じた。
- ・ フォロー者9件中、介護保険の申請者4件。訪問時にちょうど相談したかったというケース（1世帯）と、同時期に認知症等で相談対応をしていたケースが半数以上であった。その為、アウトリーチがきっかけでの介護保険申請というよりは、同時期に相談対応が重なっていたという状況がほとんどだった。
- ・ フォローB、Cの対象者は、リスク回避の為に包括からアプローチするケースが多い。対象者の中には、途中で体調が気になる為に早めの訪問をおこなったが、本人から訪問拒否がある方もいた。

訪問を通じて感じた地域の「特徴」と「課題」

	特徴	課題
大井沢	・ 家族や近隣の中に協力者がいる方が多い。 ・ 受け入れが良かった印象。	・ スーパーが遠い地区も多く、移動スーパーまで歩くことが困難な方もいた。 ・ 車がないと不便な地区が多い。 ・ コロナ禍でサロン等が休止となっており、外出機会少ない状況。
大野	・ 比較的、受け入れが良かった。 ・ 家族が近隣に住んでおり、協力的な方が多い。 ・ 買い物については、移動スーパーを利用することで助かっている方が多い。	・ コロナ禍により、外出が減ってしまい、周りの人との関りが少なくなっている。
北守谷	・ コロナ禍でも自身で行えることを継続し、体力維持を行っている方が多かった。 ・ 自宅の手入れをきちんと行えている方が多い印象。 ・ 定期的に家族と電話連絡をとっている方は多い。 ・ コロナ禍でも活動できるような屋外でのラジオ体操等に参加している方もいた。	・ 家族が遠方に住んでおり、コロナ禍においては独りで過ごすことでの孤独のリスクも高い。 ・ 北守谷地区内でも、スーパーに近い地区と距離のある地区と様々である。 ・ 一見綺麗な家の外観でも、問題を抱えているケースもあり、注意が必要。 ・ コロナ禍で一部のサロン等は実施されていたが、ほとんどのサロンは休止中だった。

